

## 菩提寺まちづくり協議会 通常総会議事録

日 時 令和4年4月24日(日)13時30分～15時30分

場 所 湖南省菩提寺まちづくりセンター 多目的ホール

1. 開会の辞 司会 長島事務局長
2. 会長挨拶 浅井長美会長
3. 来賓祝辞 生田邦夫市長
4. 来賓紹介

《湖南省市長》生田邦夫様

《湖南省役所総合政策部 部長》山元様

《湖南省役所総合政策部 次長》森村様

《湖南省役所総合政策部 地域創生推進課 課長》今村様

《湖南省役所健康福祉部 理事》服部様

《湖南省社会福祉協議会 事務局長》永坂様

《湖南省社会福祉協議会 主事》尾上様

5. 総会成立宣言 司会 長島事務局長

代議員数 42名中 総会代議員出席者 32名 委任状提出者 8名

菩提寺まちづくり協議会会則第22条1項に基づき、令和4年度菩提寺まちづくり協議会が成立したことを宣言致しました。

6. 議長・書記選出 議長 保田氏(みどりの村) 書記 千田(三上台)
7. 議案

### 第1号議案 令和3年度事業報告・会計報告

#### 第1号議案1 菩提寺まちづくり協議会会議及び活動報告 浅井(長)会長 (別紙総会資料参照 2P)

○通常総会 令和3年4月25日(日)

○合同役員会 R3. 4/14 5/12 6/9 7/14 8/11 9/15 10/13 11/10 12/8

R4. 1/12 2/9 3/9

○広報誌 まち協だより 発行なし

○他の主な活動 地産地消 しいたけ販売・カブトムシ販売・平茸原木販売、  
すくすく食堂(子ども食堂)開設、菩提寺人権まちづくり懇談会実施、  
菩提寺山の整備作業、史跡や社寺の紹介DVD作成、夏休み夜間巡回  
菩提寺まちづくりフェスタ2022開催、まち協カフェの運営  
認知症講演会開催

○地域代表者会議 年7回開催

令和3年度より、47学区長と7まち協会長との合同会議体に変更された

○菩提寺地区代表者会議 年5回開催

コミュニティプラン立案のため、7区々長とまち協四役の合同会議を開催

○第二層生活支援整備対象事業

地域支えあい推進員連絡会議 12回(出席)

支えあい推進会議(すくすく会議) 4回開催

第1号議案2 福祉・安全委員会事業報告・会計報告 浅井(長)委員長 (別紙総会資料参照 3P)

事業目的：安全な地域づくりの推進および子育て支援の充実

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業計画・予算計画

① 大規模災害に備えての地域支えあい体制構築	50,000 円
② 独り歩き高齢者の発見保護・訓練実施	60,000 円
③ 地域住民が手軽に集える場の提供（新規活動）	262,800 円
④ 子ども食堂の継続開催	550,000 円
予算合計	922,800 円

事業実績・会計報告

① 大規模災害に備えての地域支えあい体制構築	0 円
・災害時の市と区の情報の流れ整理（まち協の役割明確化） 菩提寺地区防災連絡会にて整理	
・災害対応時の手順・ルールの共有化 各区防災計画の情報共有を図った	
・避難所設置・運営マニュアルの作成 まちセンのマニュアル作成に着手	
② 独り歩き高齢者の発見保護・訓練実施	42,688 円
・高齢者の人権をテーマにした啓発研修会の開催	
・独り歩き高齢者発見・保護訓練の事前勉強会	
・第6回独り歩き高齢者発見・保護訓練実施 9月～11月に事前勉強会と発見保護訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止した。	
③ 地域住民が手軽に集える場の提供（新規活動）	305,843 円
・まち協カフェの開設 5月7日オープン（月・水・金、11～16時）	
・安心応援ハウス補助金事業（サロン開催） 第二層生活支援体制整備事業で展開	
④ 子ども食堂の継続開催	546,849 円
・食事に加えて”遊びと学ぶ”の場の提供 年間10回開催、参加者累計786名	
・継続運営の要となる財源の探索 湖南省地域活性化推進事業交付金	
・参加者アンケート実施⇒魅力と課題を抽出 アンケートは実施できず	

支出合計 895,380 円

予算残高 27,420 円

収入

① 子ども食堂参加費（10回開催）	114,400 円
② まち協カフェ売上	446,000 円

③ 地域活性化推進事業交付金	300,000 円
④ 絆づくり交付金	40,000 円
⑤ その他の寄付・交付金	56,000 円
収入合計	956,400 円

- 菩提寺地区防災連絡会は3回の会議を開催して、危機管理防災課との情報交換会の実施、避難所開設・運営マニュアルの作成に取り組んだ。
- 菩提寺「すくすく食堂」は年間10回開催。8～10月は休止、11月から再開した。"遊びと学ぶ"の取止めやテイクアウトの採用で新型コロナウイルス対応をしながら子ども食堂の継続開催に取り組んだ。
- まち協カフェは週3日オープンからスタート。11月からは週5日に業拡大した。利用は累計で2,949杯(=名)。当初目論んだ利用度には達しなかったが、様々な情報が集まり人材のネットワークづくり役に役立った。カフェ内に住民の作品を展示することで住民交流の場となった。

(質問)

実施期間が令和2年から令和3年になっているが、間違いでは？

(回答)

令和3年から令和4年の間違いです。総会資料の訂正をお願いします

### 第1号議案3 第二層生活支援体制整備事業報告・会計報告 黒柳支え合い推進員 (別紙総会資料参照 4P)

事業目的：地域で安心して暮らし続けられるまちづくりのために、地域の住民を中心とした多様な主体で、地域における助けあい活動を広げていく。

3年目となる令和3年度は、昨年度に発足した協議体により、地域づくりの合意を得ての活動を進めていく。

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業計画・予算計画

① すくすく会議(協議体)で活動方針をまとめて実践	30,000 円
② 社会資源の把握	60,000 円
③ つながり作り・担い手養成	60,000 円
④ まち協(まちセン)が一つの出場所となる	100,000 円
予算合計	250,000 円

事業実績・会計報告

① すくすく会議(協議体)で活動方針をまとめて実践	30,371 円
・ 会議への情報提供	
すくすく会議を2ヶ月ごとに開催。まずは「独居高齢者の見守りについて」各区の取り組みを検討していく	
・ 地域支えあい推進員の研修に参加	
Zoom研修に参加。第1層社協と連携して生活支援サポーター養成講座開催	
・ 地域への周知	
ささえあい新聞4回発行	
② 社会資源の把握	138,237 円
・ 区・自治会にある社会資源調査	
地域の集まりの場にほとんど参加できず。社協でまとめる冊子に情報提供	
・ 地域の社会資源の広報	
一部の集まりの一覧表は作成済み	

- ③ つながり作り・担い手養成 16,266 円
- ・地域サポーターの発足
    - 地域の集まりの場にほとんど参加できず。社協でまとめる冊子に情報提供
  - ・地域の活動支援・ネットワーク作り
    - 中学生の居場所づくりとしての「SUKUSUKU かふえ」立ち上げ支援
    - 甲西北中ボランティア部のまち協の行事への参加依頼、コーディネート

- ④ まち協（まちセン）が一つの出場所となる 147,760 円
- ・高齢者の健康保持の場の提供
    - フレイル予防講座 1 回開催（2 回目はコロナ感染拡大のため延期）
    - 認知症講演会をオンライン配信にて実施（参加者総勢 60 人ほど）
  - ・カフェ構想とのコラボ
    - 湖南省地域活性化推進事業交付金
  - ・参加者アンケート実施⇒魅力と課題を抽出
    - カフェを活用して月 1 回のサロンを開始。ビラ回覧をして 6 回のサロンを実施。まちづくりセンターをつどいの場として位置付けられた。まちづくりセンター事業とコラボ企画実施

支出合計 332,634 円

予算残高 27,420 円

収入

- ① 生活支援体制整備事業受託金 200,000 円

収入合計 200,000 円

○コロナ感染拡大により、行事ができない期間ができてしまった

○認知症講演会のオンライン配信は、感染拡大でできないのではなく、工夫して実施できる手ごたえを感じた。地域住民の声も好評だった。介護者家族にとって非常に有益と感じた。

#### 第 1 号議案 4 文化芸術委員会事業報告・会計報告 田中委員長（別紙総会資料参照 5P）

事業目的：自然と歴史文化を生かしたまちづくり

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業計画・予算計画

- ① 歴史文化資料室の維持管理及び新企画 140,000 円
- ② 菩提寺山の散策路の整備・維持管理 70,000 円
- ③ まちセンロビーを利用した展示会の開催 40,000 円
- ④ 菩提寺の歴史を子どもたちに伝承する 50,000 円

予算合計 300,000 円

事業実績・会計報告

- ① 歴史文化資料室の維持管理及び新企画 98,670 円
  - ・フェスタに合わせて企画展を開催する。（齋神社）
    - 企画展の準備と開催 10 月～11 月
  - ・歴史講座の開催 年 3 回開催（6 月、3 月は中止）
    - 予定していた講座は中止となった
  - ・博物館協議会への参加
    - 今年度は総会が書面決議となった
- ② 菩提寺山の散策路の整備・維持管理 145,215 円

- ・歴史の小径の整備作業（階段用丸太購入）  
年10回実施（内1回は雨天中止）
- ・散策路の草刈り、散策路の補修（案内板パネル購入）  
ロープ、階段の補修3回
- ③ まちセンロビーを利用した展示会の開催 9,715 円
  - ・小学生の歴史パネルの展示 菩小、菩北小  
2月実施
  - ・年始書初め展  
1月実施
  - ・写真展（一般募集）ロビーではなく、まち協カフェにて  
7月実施
- ④ 菩提寺の歴史を子どもたちに伝承する 21,101 円
  - ・土曜日事業ボランティア保険
  - ・子どもでも解る菩提寺の歴史等のDVDの作成  
5枚作成（継続して行く）

支出合計 274,701 円

予算残高 25,299 円

収入

- ① 収入合計(本売上) 3,000 円

事業収入 3,000 円

○歴史講座を計画していたが、新型コロナ感染拡大により、すべて中止となった。R4年度は実施したい

○菩提寺山の散策路の整備のため、丸太の階段の損傷している場所を補修するため、丸太を購入した

また、案内板の更新、追加のための案内板材料「アルミ複合パネル」を購入した

○DVDの作成は原版が5枚出来ている。作成は次年度も継続して作成していく

## 第1号議案5 地域活性化委員会事業報告・会計報告 浅井基義委員長（別紙総会資料参照 6P）

事業目的：地域にコミュニティビジネスを起業

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業計画・予算計画

- ① 地産地消の推進 48,000 円
  - ② 自然を大切にし、触れ合うまちづくり 420,000 円
- 予算合計 468,000 円

事業実績・会計報告

- ① 地産地消の推進 57,022 円
  - ・シイタケの育成と販売  
3月に植菌
  - ・ひらたけ、なめこの原木作成と販売  
3月に植菌、9月に販売
  - ・筍、椎茸販売  
筍は不作により販売数わずか
  - ・カブト虫の育成と販売  
コロナ渦の中、各区夏祭り中止により販売数減少

② 自然を大切にし、触れ合うまちづくり

419,824 円

- ・施設の整備と充実  
年間を通して
- ・竹林全体の整備  
年間を通して
- ・粉碎機の活用  
防音工事が完了し、今期は6日間の稼働
- ・竹林北山台側の草刈  
8月1日菩提寺きずな会さんと共同で草刈りの実施
- ・竹材の加工品の作成  
土曜日事業に協力、12月クリスマスカード、2月竹馬作り中止
- ・地域のボランティアの皆様、甲西北中学コミュニティスクールの地域参加へ  
県立大と、甲西北中、まち協と共同で環境学習の開催は、新型コロナウイルスの影響で中止
- ・県立大学との協力関係の維持  
学生との反省会（新型コロナウイルスの影響で中止）

支出合計 476,846 円

予算残高 -8,846 円

収入

事業収入 153,550 円

内訳：椎茸 83,100 円、たけのこ 15,000 円、カブトムシ 24,750 円、  
平茸なめこ原木 30,700 円

○裏年に当たり今期の筍は不作となり、各自治会さんによる筍堀も期待外れの結果となってしまい申し訳ありませんでした。

令和4年度は豊作で有ることを期待しています。

○竹の育成を行いながら、新しく伸びた竹は、間引きを行い筍をセンターでの販売の予定であったが、筍が不作により4月初旬だけしか収穫ができず、筍の販売を待っておられた方より残念と聞いています。

○椎茸の栽培は、毎年新しいほだ木の入替を行い順調に収穫している。購入されている方の感想は、肉厚で大変おいしいと人気があります。

○新型コロナウイルスの影響で、滋賀県立大の学生も活動が制限されている中、整備作業を10月～1月に実施。バンブーハウス1号機後にハンモックの新設、2号機の一部解体と補修、スクリーン広場の補修とブランコを新しく制作。

○新型コロナウイルスの影響で、滋賀県立大と甲西北中学校の環境学習が昨年に続き中止となりましたが、コロナ渦が収まるようであれば継続実施の方向で打合せを行った。

○土曜日事業では、12月にクリスマスカード作りに協力、参加者の皆様には好評。2月予定していた竹馬作りは、新型コロナウイルスにより中止。

○3月（2日間に渡り）椎茸、平茸、の植菌作業を委員会のメンバー、サポーターで実施。

**第1号議案6 子ども育成委員会事業報告・会計報告 大黒委員長（別紙総会資料参照 7P）**

事業目的：「地域の子どもは地域で守り育てる」をスローガンに子どもたちの健全育成を図る。

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業計画・予算計画

- ① 地域の大人と子ども達との秩序あるつながりを創る

50,000 円

- ② 子ども達と保護者が、地域と世代間交流する場を創る 360,000 円
  - ③ 事業目的達成の為、市民会議と連携する 0 円
- 予算合計 410,000 円

事業実績・会計報告

- ① 地域の大人と子ども達との秩序あるつながりを創る 25,773 円
  - ・夏休み夜間巡回（両小学校区内）
    - 期間中校区内 7 回、計 14 名の動員
  - ・愛のひと声あいさつ運動（両小学校校門付近）
    - 2 学期中 6 回、計 61 名の動員
- ② 子ども達と保護者が、地域と世代間交流する場を創る 333,324 円
  - ・土曜日事業支援（両小学校児童対象）
    - 中止
  - ・ハリキリンピック（未就学児から小学生対象）
    - 317 名の参加（子 163 名）
  - ・すくすく広場（未就学児対象）
    - 中止（申込み、子 33 大人 25）
- ③ 事業目的達成の為、市民会議と連携する 0 円
  - ・市民会議理事会及び研修会の参加
    - 理事会参加
  - ・社会を明るくする推進大会の参加
    - 中止
  - ・市及び県の青少年育成大会の参加
    - 青春祭（あおはるさい）参加

支出合計 359,097 円

予算残高 50,903 円

収入

事業収入 207,956 円

- 夏休みの土曜日事業支援『ポンポン船作り』はコロナ禍の影響を受け、二度の延期ののち中止を余儀なくされた
- すくすく広場も上記と同様に、コロナ禍の影響を受け中止とした。子ども 33 名、大人 25 名の参加申込み者には、手土産を配布した。
- 子どもたちの遊びの安全性を考慮してジョイントマットを購入した。  
今年度のすくすく広場は中止となったが、次年度以降のイベントで使用する。
- あいさつ運動は、8 回を予定していたが、コロナ禍の影響で 2 回中止となった。

**第 1 号議案 7 親善事業 川上副会長（別紙総会資料参照 8P）**

事業目的：菩提寺地域 7 区の親善が図れる事業の実施と、今後の担い手発掘に向けての準備作業

実施期間：R3.4.1～R4.3.31

事業・予算計画

- ① グランドゴルフ大会の開催 80,000 円
  - ② 令和 4 年度開催予定の体育関連事業計画の立案 5,000 円
- 予算合計 85,000 円

事業実績・会計報告

- ① グランドゴルフ大会の開催 0円  
・打ち合わせ会  
感染症予防の観点から中止を決定  
・グランドゴルフ大会  
中止
- ② 令和4年度開催予定の体育関連事業計画の立案 0円  
・体育関連事業計画会議  
感染症予防の観点から中止を決定
- 支出合計 0円  
予算残高 85,000円

○大会開催について GG 協会と相談のうえ感染症予防を考慮し中止の判断をした。

○今後のまち協を担う若手の取り込みを目論んでの体育関連事業の計画および立案であったが令和3年度においての立ち上げは中止の判断をした。

**第2号議案1 令和3年度 まちづくり協議会 決算報告 中村会計 (別紙総会資料参照 9P~10P)**

収入の部

繰入金 予算 外数 (0) 実績 807,256円 (指定管理会計の余剰金)

合計 予算 7,746,871円 実績 8,201,562円 比較増減 454,691円

支出の部

当初予算 7,746,871円 予算現額及び流用 0円 現計予算 7,746,871円

実績 6,999,953円 返納金 60,000円 次年度繰越金 1,141,609円

(質問)

支出の次年度繰越金が、1,141,609円となっているが、前年予算欄が空白なのはなぜですか？

(回答)

前年予算は、収入の繰越金 1,137,271円となります

**第2号議案2 令和3年度会計監査報告 小川監事 (別紙総会資料参照 11P)**

令和3年度菩提寺まちづくり協議会の事業及び収支決算について、出納簿をはじめ関係諸帳簿ならびに証拠書類等を対照調査した結果、その執行に対し適正に事務処理されているので正当であることを認める。

**第2号議案3 受託事業会計報告 川上副会長 (別紙総会資料参照 12P)**

**令和3年度 指定管理事業決算書**

菩提寺まちづくりセンター、菩提寺コミュニティセンター、菩提寺多目的運動広場の管理を市から受託。

収入の部

予算 17,175,833円 実績 19,700,167円 予算対比 114.7%

支出の部

予算 17,175,833円 実績 19,821,590円 予算対比 115.4% 収支差額 -121,423円

第1号から第2号議案まで全員賛成にて承認されました。

**第3号議案 菩提寺まちづくり協議会会則変更 浅井会長 (別紙総会資料参照 13P~24P)**

第5条2項



【変更前】 本会は第2条の目的を達成するため、「総会」、「合同役員会」、「八役会議」、「運営委員会」を置く。

【変更後】 本会は第2条の目的を達成するため、「総会」、「合同役員会」、「まち協代表者会議」、「運営委員会」を置く。

【変更理由】 会議の名称変更

八役会議←まち協のみ

まち協代表者会議←まち協+区長会

#### 第28条1項

【変更前】 八役会議は会長、副会長、会計、事務局長、運営委員会委員長をもって構成する。

【変更後】 まち協代表者会議は会長、副会長、会計、事務局長、運営委員会委員長、区長会代表者をもって構成する。

【変更理由】 まち協代表者会議の構成員を定義

#### 第29条1項

【変更前】 八役会議は会長が招集する。

【変更後】 まち協代表者会議は会長が招集する。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第29条2項

【変更前】 八役会議は毎月1回開催する。

但し、会長が必要と認めたときは臨時に八役会議を開催する事ができる。

【変更後】 まち協代表者会議は毎月1回開催する。

但し、会長が必要と認めたときは、臨時にまち協代表者会議を開催する事ができる。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第30条1項

【変更前】 八役会議は本会の経営に関する重要事項について審議する。

【変更後】 まち協代表者会議は本会の経営に関する重要事項について審議する。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第31条1項

【変更前】 八役会議は構成員の過半数をもって成立する。

【変更後】 まち協代表者会議は構成員の過半数をもって成立する。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第31条2項

【変更前】 八役会議の議決は構成員の過半数をもって決し、賛否同数の時は会長の決するところによる。

【変更後】 まち協代表者会議は構成員の過半数をもって決し、賛否同数の時は会長の決するところによる。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第34条2項

【変更前】 各運営委員長は所属する運営委員会の運営ならびに執行に関し必要事項は速やかに八役会議または合同役員会に報告し承認を得なければならない。

【変更後】 各運営委員長は所属する運営委員会の運営ならびに執行に関し必要事項は速やかにまち協代表者会議または合同役員会に報告し承認を得なければならない。

【変更理由】 会議の名称変更

#### 第39条5項

【変更前】 1品目3万円以上の出金に関しては八役会議での支出承認を必要とする。

【変更後】 1品目3万円以上の出金に関してはまち協代表者会議での支出承認を必要とする。

【変更理由】 会議の名称変更

第3号議案は全員賛成にて承認されました。

**第4号議案 役職変更 湯浅役員推薦委員会委員長 (別紙総会資料参照 25P)**

役職	氏名	所属区
会長	鵜飼 孝 (新任)	菩提寺
副会長	川上 昭 (留任)	みどりの村
副会長	栗津 寛三 (再任)	近江台
会計	中村 春次 (留任)	北山台
事務局長	長島 寛 (留任)	サイドタウン
監事	小川 泰幸 (留任)	イワタニランド
監事	徳田 一廣 (新任)	三上台

任期： 令和4年度総会から、令和6年度総会まで

第4号議案は全員賛成にて承認されました。

承認後の新会長挨拶及び所信表明を巻末に添付

**第5号議案 令和4年度 事業計画・予算計画**

**第5号議案1 福祉・安全委員会 浅井 長美委員長(別紙総会資料参照 26P)**

事業目的：支え合える地域・誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざす

① 大規模災害に備えての地域支えあい体制構築	10,000 円
② 認知症に対する理解と対応力を高める取組みの実施	30,000 円
③ 地域住民が手軽に集える場の提供	400,000 円
④ 子ども食堂の継続開催	450,000 円

合計 890,000 円

**第5号議案2 第二層生活支援体制整備事業 黒柳支え合い推進員(別紙総会資料参照 27P)**

事業目的：地域で安心して暮らし続けられるまちづくりのために、地域の住民を中心とした多様な主体で、地域における支えあい活動を広げていく

4年目となる令和4年度は、フレイル予防講座で介護予防を啓発しつつ地域活動の情報収集と具体的な活動展開を検討していきたい。

① すくすく会議(協議体)で活動方向性をまとめて実践	30,000 円
② 社会資源の把握	70,000 円
③ つながり作り・担い手養成	60,000 円
④ 介護予防啓発	90,000 円

合計 250,000 円

**第5号議案3 文化芸術委員会 田中委員長(別紙総会資料参照 28P)**

事業目的：自然と歴史文化を生かしたまちづくり

- ① 歴史文化資料室の維持管理及び新企画

・年1回の企画展 興味を持って頂ける展示	50,000 円
・歴史講座の開催 年3回開催	50,000 円
・県博物館協議会への参加	10,000 円
② 菩提寺山の散策路の整備、維持管理	
・菩提寺山、歴史の小径の散策路の維持管理	80,000 円
・案内板、階段、ロープ等の維持管理	30,000 円
③ まちセンロビーを利用した展示会、発表会	
・フェスタ以外での小学生等の作品の展示	10,000 円
・一般募集した写真、絵画等の作品展示	5,000 円
・発表会等を開催するための準備会	5,000 円
④ 菩提寺の歴史を子どもたちに伝承する	
・歴史ワークショップの開催（土曜日事業）	5,000 円
・子どもたちでも理解できる資料の作成	25,000 円

合計 270,000 円

#### 第5号議案4 地域活性化委員会 浅井基義地域活性化委員長(別紙総会資料参照 29P)

事業目的：地域に、うるおいのあるまちをつくろう

① 地産地消の推進	
・シイタケの育成と販売	26,000 円
・ひらたけの原木作成と販売	
・タケノコの販売	3,000 円
・カブト虫の育成と販売	13,000 円
② 自然を大切にし、触れ合うまちづくり	
・竹材の加工品の作成	20,000 円
・各自治会さんによる筍堀の実施	0 円
・施設の整備と充実	90,000 円
・竹林全体の整備	90,000 円
・粉碎機のメンテナンス費用	70,000 円
・竹林北山台側の草刈	60,000 円
・滋賀県立大学との協力関係の維持	30,000 円
・地域のボランティアの皆様、甲西北中学・コミュニティスクールの地域参加への協力	20,000 円

合計 422,000 円

#### 第5号議案5 子ども育成委員会 大黒子ども育成委員長(別紙総会資料参照 30P)

事業目的：「地域の子どもは地域で守り育てる」をスローガンに、子ども達の健全育成を図る。

① 地域の大人と子ども達との秩序あるつながりを創る	45,000 円
② 子ども達と保護者が、地域と世代間交流する場を創る	
・土曜日事業支援（両小学校児童対象）	72,000 円
・ハリキリンピック（未就学児から小学生対象）	144,000 円
・すくすく広場（未就学児対象）	108,000 円
③ 事業目的達成の為、青少年育成市民会議と連携する	0 円

合計 369,000 円

#### 第5号議案6 まちづくりフェスタPJ 川上副会長(別紙総会資料参照 31P)

事業目的：菩提寺学区住民が主体となり一堂に会する親善事業の実施

- ① まちづくりフェスタ準備委員会の開催
- ② まちづくりフェスタ実行委員会の開催
- ③ まちづくりフェスタ事前準備とフェスタの開催（10月23日）

合計 150,000 円

#### 第5号議案7 親善事業PJ 栗津副会長(別紙総会資料参照 32P)

事業目的：菩提寺地域7区の親善が図れる事業の実施と、今後の担い手発掘に向けての準備作業  
令和4年度開催予定の体育関連事業計画の立案

0 円

合計 0 円

#### 第6号議案1 令和4年度 菩提寺まちづくり協議会予算 中村会計(別紙総会資料参 33-36P)

収入の部

合計 R3 年度実績 8,201,562 円

R4 年度予算 5,118,609 円

比較増減 3,082,953 円

(要因)第2層生活支援体制整備事業委託金200万円は全額をまちセンの指定管理会計に資金移動し、まちセンの弥生会計で管理する。従って、まち協の収支からは除外した。

繰入金を外数とするため、確定が5月になる

支出の部

小計 R3 年度実績 6,999,953 円

R4 年度予算 5,118,609 円

比較増減 1,881,344 円

合計 R3 年度実績 8,201,562 円

R4 年度予算 5,118,609 円

比較増減 3,082,953 円

(要因)R3年度は、第2層生活支援体制整備事業委託金200万円を支出の拠出金として処理したが、今年度はまち協の収支からは除外した。

基金が外数となるため、未確定

#### 第6号議案2 令和4年度 指定管理事業予算 川上副会長(別紙総会資料参照 37P)

収入の部

合計 R3 年度実績 19,700,167 円

R4 年度予算 20,473,500 円

比較増減 773,333 円

支出の部

合計 R3 年度実績 19,821,590 円

R4 年度予算 19,902,423 円

比較増減 80,833 円

第5号議案・6号議案は全員賛成にて承認されました。

以上

会長承認

鶴飼 孝

議事録作成者

千田 浩文

議事録署名人

湯淺 龍一

議事録署名人

廣嶋 一夫

## 令和4年度新会長挨拶及び所信表明(抜粋)

湖南省で七つある、まちづくり協議会会長の立場が昨年令和三年度より、市長が委嘱する行政事務学区統括委員として設置されました。使命は行政事務取扱委員である区長、即ち菩提寺学区の区長会と連携し市と連絡・調整を行う事であり、地域の課題や問題を区長会と共有し、解決・改善する事を使命とし、七区のみと役割として市との交渉事や住民との対話を通じて、住みやすい、活気のある町にする事と私は理解致しました。

本年二月に菩提寺まちづくり協議会として市にコミュニティプランを提出されています。そのテーマは住民同士がつながり、支え合う住みやすいまちを目指す、とあり、四つの目標を掲げています。

- 一、住民交流の盛んな地域
- 二、支え合える地域
- 三、誰もが安心して暮らせる地域
- 四、住みたくなる地域

以上四項目に対して実現に向けての方向性と取組みを具体的に市に報告しています。したがってこのコミュニティプランに添って事業展開を進めていこうと考えています。

昨今、日本各地で地震が発生し南海トラフ地震等大きな地震も予想されています。いつ私達の住んでいる菩提寺地域に発生しても不思議ではない状況と言われています。安心・安全なまちづくりには何から取り組むべきか、それが私の出発点かなと思います。

次に子供達の事です。コロナの影響で思い出になるべく大事な行事がこの二年間中止や規模縮小を余儀なくされてきました。子供達は一年、一年やる事が変わって、成長していきます。その子供達に良い思い出を作ってあげて住みたくなるふる里にしてあげたいという思いがあります。

私の夢の様な話はまだまだありますが、夢実現には住民の皆様のご理解・ご協力そして提案・意見がかかせません。お住まいの区長さんを通じて聞かせていただいても直接聞かせていただいても結構です。どんな事も前向きに取り組む所存でございます。

まちづくり協議会は基本的に四委員会を通じて事業を行っていきます。住民の皆様のニーズによっては委員会の再編・新設も視野に入っております。

以上、長くなりましたが、会長就任に際しての私の思いをお話しさせていただきました。

ありがとうございました。

鵜飼孝